

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	阿倍野区
学校名	阪南小学校
学校長名	石川 正

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・阪南小学校では、第6学年 143名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語科・算数科・理科の平均正答率は、ともに大阪市平均値、全国平均値を上回っている。
- 平均無回答率は、大阪市平均値、全国平均値より低く、全国平均値との比較では、国語科・理科では1/3以下、算数科では1/4以下であった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教員が研究・研修を積み重ねてきた授業実践に、児童が意欲的に学習に取り組むことができている証左であると考える。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 学習指導要領の内容別の正答率をみると、すべての内容において大阪市平均値、全国平均値を上回っている。

〔算数〕 学習指導要領の領域別の正答率をみると、すべての領域において大阪市平均値、全国平均値を上回っている。

〔理科〕 学習指導要領の区分・領域別の正答率をみると、すべての区分・領域において大阪市平均値、全国平均値を上回っている。

これまでの授業改善の取り組みの成果がみられ、学習内容の定着が図られている。今後も理由や根拠を考え、伝え合い、共に学び合う児童の育成を目標に授業改善を進めていく。

質問調査より

○「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」の問い合わせに対して全国平均より国語では14%以上、算数では6%以上の児童が肯定的な回答をしており、学習に対して好意的にとらえ、意欲的に学習に取り組んでいる様子が伺える。

○「自分には、よいところがあると思いますか」「人に役に立つ人間になりたいと思いますか」の問い合わせに対して、全国平均より肯定的な回答する児童が多く、全校で取り組んでいるよいところ見つけなどの自尊感情の向上や自己肯定感の醸成に向けた取り組みの成果がみられる。

## 今後の取組(アクションプラン)

- 「全国学力・学習状況調査」の結果の分析から見えてきた成果・課題を全教職員に共有し、これまでの学力向上の取り組みを発展・深化し継続していく。さらに、一人一台端末を効果的に活用するために、タブレットドリル等を活用した個に応じた学習を推進するとともに、資料から自分の考えをもち、理由や根拠をもとに、伝え合い、共に学び合う児童の育成に向けて取り組んでいく。また、児童の自尊感情や自己肯定感の醸成を意識した取り組みを継続していく。

# 【 全体の概要 】

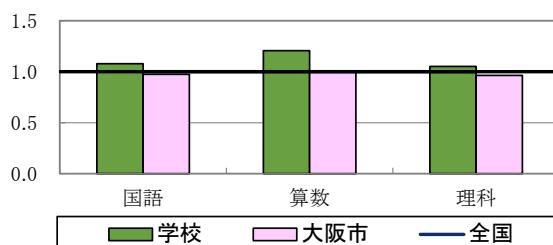
## 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	72	70	60
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

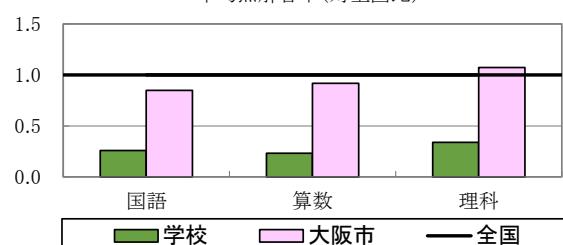
## 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	0.9	0.8	0.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



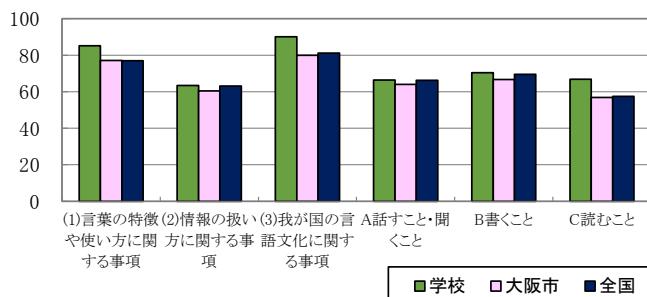
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	85.2	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	63.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	90.1	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	66.4	64.0	66.3
B 書くこと	3	70.4	66.7	69.5
C 読むこと	4	66.9	56.9	57.5

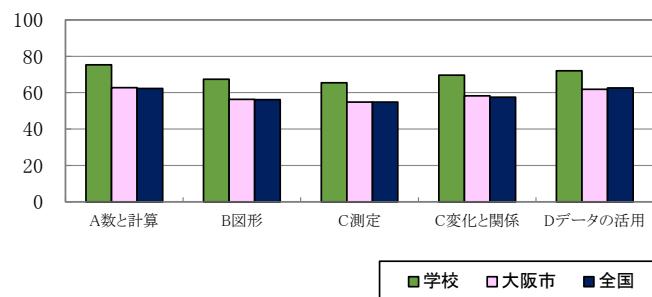
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	75.3	62.7	62.3
B 図形	4	67.4	56.4	56.2
C 測定	2	65.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	69.7	58.2	57.5
D データの活用	5	72.0	61.9	62.6

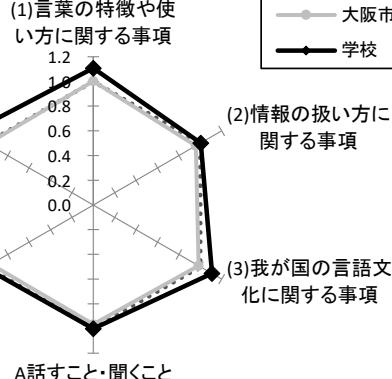
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



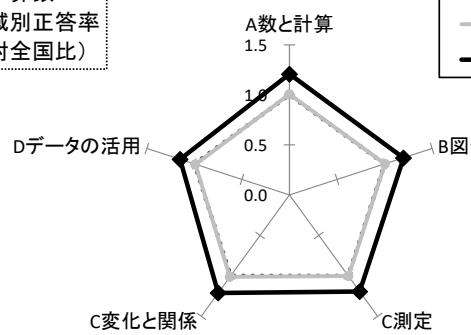
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

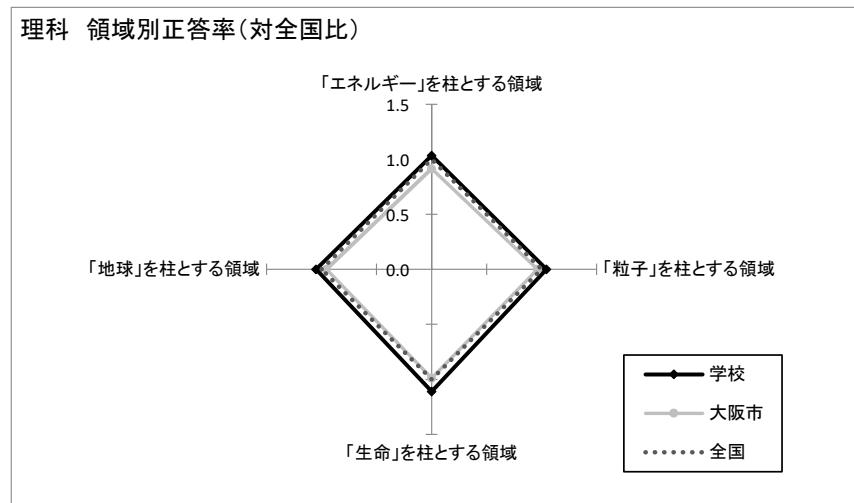
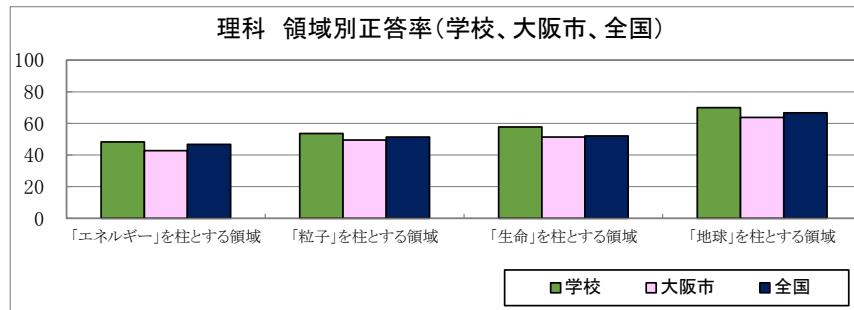


算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	48.3	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	53.7	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	57.7	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	70.0	63.8	66.7



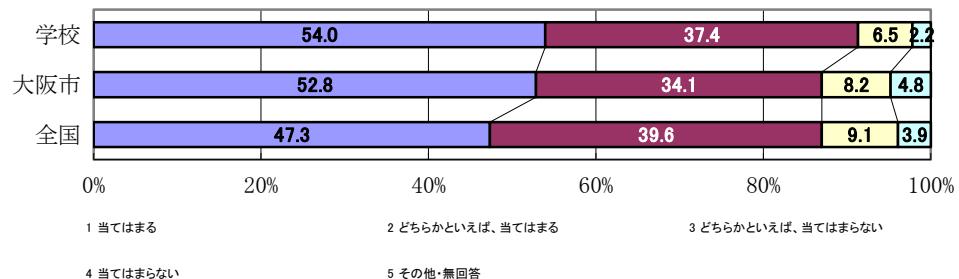
# 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号  
質問事項

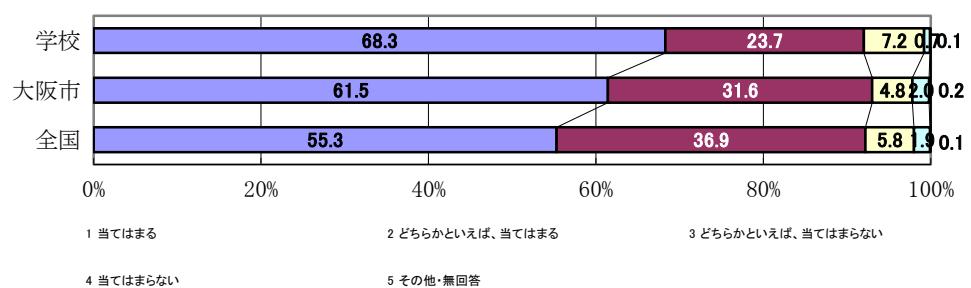
5

自分には、よいところがあると思いますか



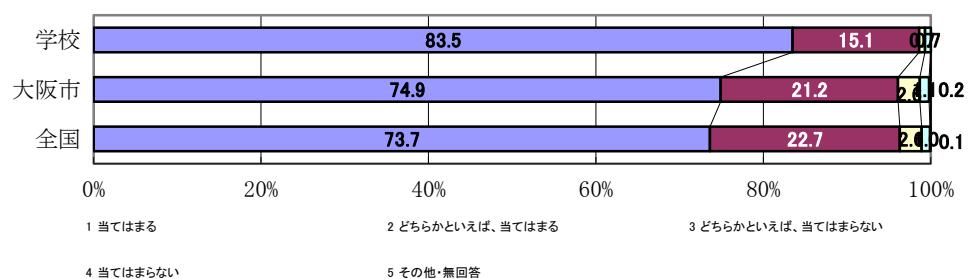
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



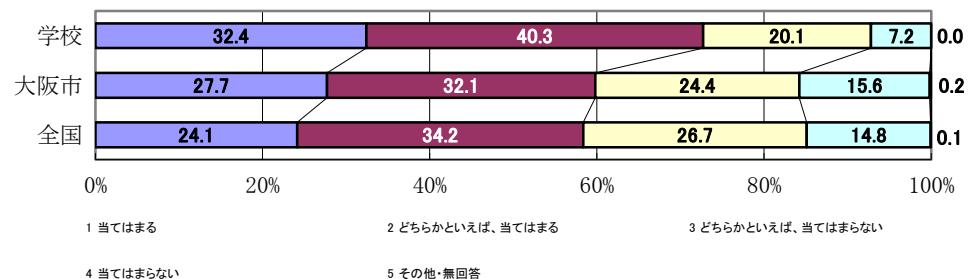
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



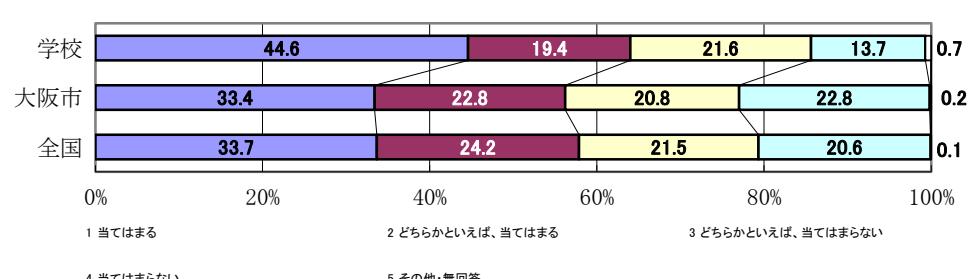
45

国語の勉強は好きですか



53

算数の勉強は好きですか



# 学校質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

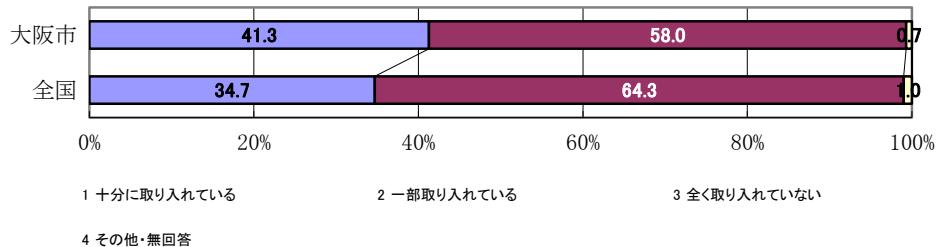
質問番号

質問事項

13

ICTを活用した校務の効率化  
(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

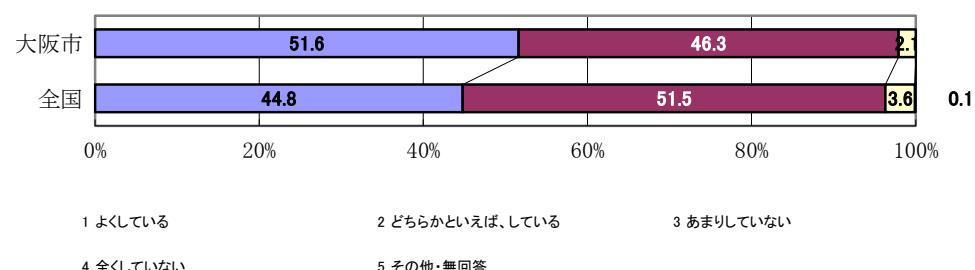
学校 「十分に取り入れている」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

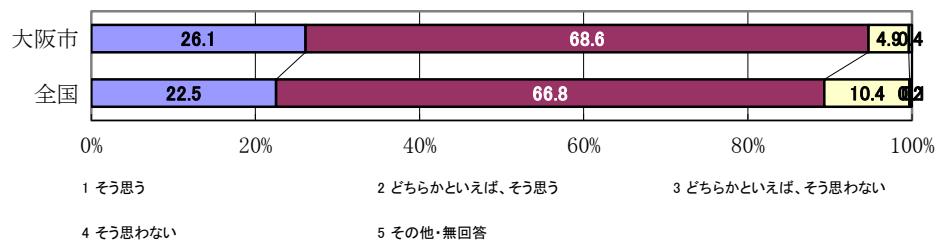
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

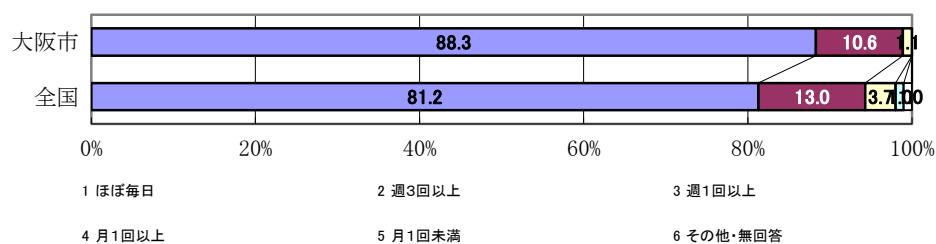
学校 「そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



66

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「毎日持ち帰って、毎日利用させている」を選択

